

地球温暖化に伴う局地的集中豪雨による被害の軽減 に向けた検討について（WGの設置）

7月28日、金沢市の浅野川での大規模な水害や神戸市の都賀川における水難事故が発生しましたが、このような地球温暖化に伴う影響と想定される局地的集中豪雨による中小河川の水害や水難事故に対し、「犠牲者ゼロ」を確実なものとするための必要な河川管理のあり方について検討を行います。具体的には、中小河川の管理のあり方と都市河川の水難事故の二つの課題について、「気候変動に適応した治水対策検討小委員会」において審議を行うこととしますが、審議の円滑化を図るため、河川局内に学識経験者や地方自治体等の関係者を構成員とする2つのワーキンググループを設置します。

1. 検討事項

（1）中小河川における局地的豪雨対策WG

①予測技術の高度化

- ・局地的豪雨による流出予測の高精度化に資する降雨や水位等の観測体制の強化の検討 等

②局所豪雨に対応可能な河川管理施設の運用と整備

- ・急激な水位上昇にも対応するための情報伝達、初動体制の検討
- ・迅速な対応を可能とする施設の自動化等の検討 等

（2）中小河川における水難事故防止策検討WG

①河川利用者等に対する情報提供、啓発のあり方

- ・水文情報収集のあり方
- ・河川利用者が受動的に伝達を受ける情報発信体制の検討
- ・あらゆる機会を通じての水難防止の啓発、NPO等との連携 等

②中小流域の流出特性を踏まえた河川空間利用のあり方

- ・緊急時の避難を想定した施設整備の考え方 等

2. スケジュール（予定）

- 9月 気候変動に適応した治水対策検討小委員会開催
- 9月～11月 WGによる検討
- 12月 気候変動に適応した治水対策検討小委員会への報告

※趣旨、委員については別紙1～4の通り

問い合わせ先

国土交通省河川局 河川計画課 河川計画調整室 課長補佐 藤田 士郎
代表03(5253)8111 直通03(5253)8445 内線 35352

地球温暖化に伴う局地的集中豪雨による被害の軽減に向けた検討について

(趣旨)

地球温暖化によるものと懸念される局地的な集中豪雨による被害が全国各地で発生している。この7月28日には、金沢市の浅野川において大規模な水害が発生するとともに、神戸市の都賀川において突然の出水による水難事故が発生した。今後、地球温暖化の進行に伴う気候変化の激化により、このような中小河川における洪水被害や水難事故の拡大が懸念されている。

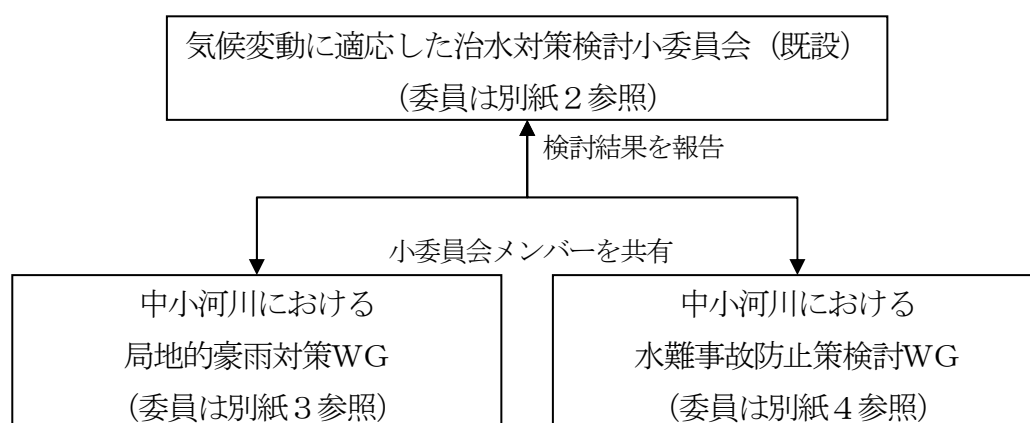
中小河川は、流域が小さく、降った雨が素早く流出してくる特性を持つ。近年では、市街地における透水性の低下や森林の荒廃による保水力の低下などによって、流出の速度は早まる傾向にある。また、河川環境に対する国民のニーズに応え、特に都市部では、親水性の河川空間の創出を進めてきており、多くの利用がなされている。こうした中で、流出の早い局地的な集中豪雨の増加に対して適切な河川管理を行い、洪水被害の軽減、水難事故の回避を図る必要がある。

ところが、局地的に強い降雨による洪水を予測することは難しく、大きな流域の河川のように降雨や水位を感知してからの対応では間に合わないことも多い。また、現状では河川内の利用者には、突発的な洪水の情報を伝えることが難しい。このため、短時間の降雨予測や洪水予測の精度の向上、降雨や水位の観測体制の強化、降雨や洪水の情報伝達の迅速化、情報周知の徹底など局地的な集中豪雨に対する対応を強化する必要がある。

このような状況を踏まえ、国が管理しているような大きな流域の河川とは異なる特性を持つ中小河川において、水害や水難事故に対し「犠牲者ゼロ」を確実なものとするため必要な河川管理のあり方について、既設の「気候変動に適応した治水対策検討小委員会」において検討することとする。

なお、具体的な検討にあっては、中小河川の管理のあり方と都市河川の水難事故の二つの課題について、「気候変動に適応した治水対策検討小委員会」において審議を行うこととするが、審議の円滑化を図るため、河川局内にそれぞれ専門家や自治体の関係者を構成メンバーとするワーキンググループを設置する。

(検討体制)



社会資本整備審議会河川分科会
気候変動に適応した治水対策検討小委員会

委員名簿

- 委員長 福岡 捷二 中央大学 研究開発機構 教授
- 委員 池淵 周一 京都大学 名誉教授
- 〃 磯部 雅彦 東京大学大学院新領域創成科学研究科
社会文化環境学専攻 教授
- 〃 沖 大幹 東京大学生産技術研究所 教授
- 〃 岸 由二 慶應義塾大学 教授
- 〃 木本 昌秀 東京大学気候システム研究センター
副センター長・教授
- 〃 小池 俊雄 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授
- 〃 重川希志依 富士常葉大学大学院環境防災研究科 教授
- 〃 中北 英一 京都大学防災研究所 気象・水象災害研究部門 教授
- 〃 藤田 正治 京都大学防災研究所 流域災害研究センター 教授
- 〃 藤吉洋一郎 大妻女子大学文学部 教授
- 〃 三村 信男 茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター 教授
- 〃 虫明 功臣 福島大学理工学群共生システム理工学類 教授

中小河川における局地的豪雨対策WG

委員名簿

- 座長○小池 俊雄 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授
- 委員○木本 昌秀 東京大学気候システム研究センター 副センター長・教授
- 〃 清水 義彦 群馬大学工学部建設工学科 准教授
- 〃 田中 淳 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター
センター長・教授
- 〃 山崎 登 NHK解説主幹
- 〃 長島 修一 東京都建設局河川部 計画課長
- 〃 常田 功二 石川県土木部 河川課長
- 〃 鈴木 和史 気象庁予報部業務課 気象防災情報調整官
- 〃 金澤 裕勝 国土技術政策総合研究所河川研究部 河川研究室長
- 〃 吉田 正 総合政策局建設施工企画課 施工環境技術推進室長
- 〃 五道 仁実 河川局河川計画課 河川情報対策室長
- 〃 渥美 雅裕 河川局治水課 河川保全企画室長

※○印は「気候変動に適応した治水対策検討小委員会」委員

※敬称略、順不同

中小河川における水難事故防止策検討WG

委員名簿

- 座長○岸 由二 慶應義塾大学 教授
- 委員○中北 英一 京都大学防災研究所 気象・水象災害研究部門 教授
- 〃 ○藤吉洋一郎 大妻女子大学文学部 教授
- 〃 片田 敏孝 群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻 教授
- 〃 北川 健司 NPO法人川に学ぶ体験活動協議会常任理事
NPO法人広域防災水難救助捜索支援機構副理事長
- 〃 戸田 圭一 京都大学防災研究所 教授
- 〃 杉山 孝一 神奈川県県土整備部 河川課長
- 〃 森脇 康仁 兵庫県県土整備部土木局 河川整備課長
- 〃 城尾 泰彦 気象庁総務部企画課防災企画調整官
- 〃 服部 敦 国土技術政策総合研究所河川研究部水資源研究室主任研究官
(気候変動研究チーム チームリーダー)
- 〃 五道 仁実 河川局河川計画課河川情報対策室長
- 〃 勢田 昌功 河川局河川環境課河川環境保全調整官
- 〃 森岡 泰裕 河川局河川環境課流域治水室長

※○印は「気候変動に適応した治水対策検討小委員会」委員

※敬称略、順不同